

2026年 2 月期 第 2 四半期決算説明会



株式会社ティーケーピー(証券コード：3479)

2025年10月15日（水）

TKPガーデンシティPREMIUM京橋

目次 CONTENTS

2026年2月期 第2四半期 決算概要

決算・直近事業進捗サマリ	2
事業注力ポイント	3
決算概要	4
事業概況	11

事業戦略アップデート

出店状況	18
政策投資・事業提携	24

Appendix	28
----------	----

2026年 2 月期 Q 2 連結決算

- 空間再生流通事業、ノバレーゼ事業が堅調に推移し、売上高はQ1に続いて**四半期過去最高を更新**
- 空間再生流通事業はオフィス回帰に伴う対面需要の増加や宿泊事業の拡大により、好調な進捗。また、グループ子会社の業績も堅調に推移していることから、**業績予想を上方修正**

事業進捗サマリ

- ホテルは積極的な新規出店を継続。6月にアパホテルを宮崎県で2棟、山口県で1棟開業。当社が運営するアパホテルは**20棟へ**[※]
- 7月より、大分県別府市において、当社初のPark-PFI事業となる砂湯・温泉・宿泊・食を備えた複合型リゾート「**SHONIN PARK**」を開業

※開業前施設を含む

業績見通し

- 上期は積極的な出店に伴い一時的な費用が発生したものの、下期はその影響が薄れ利益の伸長が見込まれる。さらに、下期偏重型のノバレーゼ事業が好調に推移しており、**連結業績予想達成に向けて順調な進捗**

事業・戦略トピックス

- Q3はランドマーク的物件への貸会議室・シェアオフィス出店を推進し、需要の更なる取り込みとともに、認知度・ブランド力の強化を図る
- 「fabbit」は場所の提供に留まらず、地域企業や行政、スタートアップが交わる人と情報の交流拠点として、**地域経済の活性化と新たな価値創出を目指す**
- 大規模なイベント・懇親会の引き合いが強いため、大人数を収容可能な施設の仕入れを強化
- ブライダル業界では招待客数・費用ともに増加が続いており、ノバレーゼ事業は地方拠点から順に回復。多様な婚礼スタイルが広がり、結婚式の在り方が変化。今後のさらなる需要増に期待

2026年 2 月期 第 2 四半期 決算概要

連結損益計算書 (P/L)

空間再生流通事業、ノバレーゼ事業が堅調に推移し、売上高は前年同期比で大幅に伸長しQ1に続いて
四半期過去最高を更新。

季節性によりリリカラ事業・ノバレーゼ事業の営業利益以下への影響は限定的

(百万円)	2025年2月期			2026年2月期			前年同期比増減率		2026年2月期 業績予想
	Q1	Q2	累計	Q1	Q2	累計	vsQ2	vsQ2累計	
売上高	10,562	9,717	20,280	24,465	25,433	49,898	+161.7%	+146.0%	104,000
売上総利益	4,363	3,769	8,132	10,053	10,244	20,297	+171.8%	+149.6%	—
売上総利益率	41.3%	38.8%	40.1%	41.1%	40.3%	40.7%	+1.5pt	+0.6pt	—
EBITDA	2,038	1,419	3,458	2,822	2,667	5,489	+87.9%	+58.7%	—
営業利益	1,692	1,041	2,733	1,801	1,437	3,239	+38.1%	+18.5%	9,000
営業利益率	16.0%	10.7%	13.5%	7.4%	5.7%	6.5%	△5.1pt	△7.0pt	8.7%
経常利益	1,762	859	2,622	1,659	1,167	2,827	+35.9%	+7.8%	8,000
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	1,873	549	2,422	1,079	543	1,623	△1.1%	△33.0%	3,600

空間再生流通事業（ティーケーピー本体）※損益計算書（P/L）

オフィス回帰に伴う期間貸しや研修・採用関連・会議などコロナ後に改めて強まっている対面イベント需要を取り込み、フレキシブルスペース事業が強く伸長。また、新規出店を含むホテル・宿泊研修事業の拡大も継続し、**前年同期比大幅増収増益を達成**

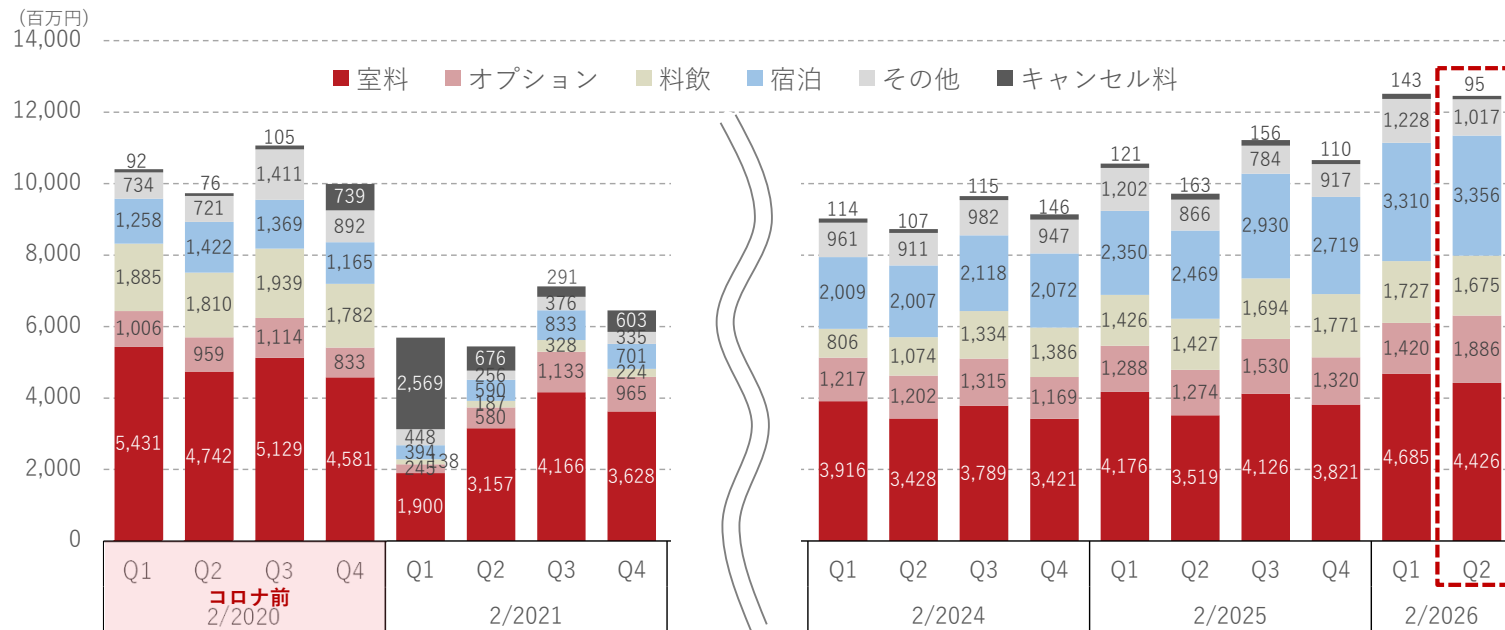
(百万円)	2025年2月期			2026年2月期			前年同期比増減率	
	Q1	Q2	累計	Q1	Q2	累計	vsQ2	vsQ2累計
売上高	10,562	9,717	20,280	12,518	12,451	24,969	+28.1%	+23.1%
売上総利益	4,363	3,769	8,132	5,234	4,538	9,772	+20.4%	+20.2%
売上総利益率	41.3%	38.8%	40.1%	41.8%	36.4%	39.1%	△2.3pt	△1.0pt
EBITDA	2,038	1,419	3,458	2,533	1,870	4,403	+31.7%	+27.3%
営業利益	1,692	1,041	2,733	2,009	1,257	3,266	+20.8%	+19.5%
営業利益率	16.0%	10.7%	13.5%	16.0%	10.1%	13.1%	△0.6pt	△0.4pt

※当社グループにおいてフレキシブルスペース事業、ホテル・宿泊研修事業などを展開する「空間再生流通事業」セグメント

空間再生流通事業（ティーケーピー本体）※ サービス別売上高推移

各サービスが好調に推移し、**前年同四半期（Q2）を上回る売上高を達成。**

宿泊は新規出店や既存店の高稼働、高単価の継続によりQ1に引き続き**過去最高売上高を更新**



※当社グループにおいてフレキシブルスペース事業、ホテル・宿泊研修事業などを展開する「空間再生流通事業」セグメント



- 売上は当初計画と比べ苦戦し、上期の業績修正を発表。通期でのリカバリーが見込めるため通期計画は据え置き

(百万円)	2025年2月期			2026年2月期			前年同期比 増減率
	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	累計	
売上高	8,663	8,465	17,128	7,815	7,529	15,345	-
営業利益	-55	497	442	113	-241	-127	-
営業利益率	-0.6%	5.9%	2.6%	1.5%	-3.2%	-0.8%	-



- 上期は施行組数・ゲスト数・組単価等各種KPIが増加し、業績予想を上回った。下期にかけても堅調に進捗する見込み

(百万円)	2025年2月期			2026年2月期			前年同期比 増減率
	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	累計	
売上高	—	—	—	4,160	5,544	9,705	-
営業利益	—	—	—	-318	442	124	-
営業利益率	—	—	—	-7.7%	8.0%	1.3%	-

※上記のリリカラ事業、ノバレーゼ事業の損益は、当社連結会計の一部としての数値であり、リリカラ株式会社、株式会社ノバレーゼが開示する決算短信および各種IR資料における損益とは一致しない

連結貸借対照表 (B/S)

空間再生流通事業におけるホテルの取得や、ノバレーゼの新規出店により有形固定資産が増加。

空間再生流通事業における長期借入実行により、財務活動によるキャッシュフローが増加

(百万円)	2025年2月期末	2026年2月期Q2	前期末比
流動資産	35,274	36,467	+1,192
(現預金)	14,528	16,711	+2,183
(売掛金)	9,747	8,788	△959
固定資産	86,119	93,492	+7,373
(有形固定資産)	51,870	57,046	+5,176
資産合計	121,394	129,960	+8,565
流動負債	32,786	32,664	△122
固定負債	43,148	54,287	+11,139
負債合計	75,934	86,951	+11,016
(有利子負債残高)	50,959	62,381	+11,422
純資産合計	45,459	43,008	△2,450
負債・純資産合計	121,394	129,960	+8,565

自己資本比率	34.1%	30.1%	△4.0pt
---------------	--------------	--------------	---------------

(百万円)	2025年2月期Q2	2026年2月期Q2	前期末比
営業活動によるキャッシュフロー	3,575	4,761	+1,185
投資活動によるキャッシュフロー	△10,620	△9,557	+1,062
フリーキャッシュフロー	△7,044	△4,796	+2,248
財務活動によるキャッシュフロー	643	6,984	+6,340

業績予想の上方修正(8/14発表)

空間再生流通事業では対面需要の増加による売上の伸長と内製化による原価率改善が進み、グループ子会社の業績も好調に推移しグループ全体の収益性が向上。これらにより、売上高が従来予想を上回り、営業利益・経常利益は売上高を上回る増減額、増減率となる見通しとなったため、**業績予想を上方修正**

(百万円)	前回業績予想 (2025年4月14日発表)	新計画 (2025年8月14日発表)	増減額	増減率	前期実績 (2025年2月期)
売上高	103,000	104,000	1,000	1.0%	59,208
営業利益	7,000	9,000	2,000	28.6%	5,915
経常利益	6,000	8,000	2,000	33.3%	5,825
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,200	3,600	400	12.5%	3,789

2026年 2 月期 第 2 四半期 事業概況

フレキシブルスペース事業 貸会議室出退店実績

Q1・Q2でfabbit施設を含め、27施設の出店および既存施設の増床により**9,796坪の増床**

	2024年 2月期 通期	2025年 2月期 通期	2026年2月期 Q2
新規 出店数	+11施設	+49施設	+27施設 (Q2 : +7施設)
増床数	+11,313坪	+20,625坪	+9,796坪 (Q2 : +6,259坪)
退店数	△18施設	△10施設	△6施設 (Q2 : △2施設)
減床数	△5,157坪	△4,020坪	△2,822坪 (Q2 : △654坪)

TKP fabbit 高松



+203坪

※面積は契約面積。「増床数」は新規出店および既存施設増床を合計した数値、「減床数」は既存施設の退店および減床を合計した数値を記載
 ※2025年2月期Q1にカウント定義を見直したことにより、2024年2月期末の数値を変更
 ※CIRQ・fabbit含む
 ※詳細はP.13の貸会議室小計欄参照

グレード			2024. 2 期末	2025. 2 期末	2026. 2 期Q 2
	ブライダル施設 のバンケット	シルク CIRQ	施設数 24 室数 50 面積(坪) 19,956	60 219 33,464	60 219 33,464
	大型・新築の オフィスビル	ガーデンシティ PREMIUM (GCP)	施設数 29 室数 337 面積(坪) 17,374	31 351 18,266	31 353 18,558
	大型・中古ホテル バンケット	ガーデンシティ (GC)	施設数 32 室数 369 面積(坪) 23,226	30 388 22,885	29 357 21,419
	大型・中古の オフィスビル	カンファレンス センター (CC)	施設数 40 室数 560 面積(坪) 22,285	44 599 24,742	48 637 29,980
	中型・中古の オフィスビル	ビジネス センター (BC)	施設数 18 室数 165 面積(坪) 4,140	19 169 4,295	18 153 4,067
	小型・中古の オフィスビル	スター 貸会議室	施設数 15 室数 31 面積(坪) 658	14 28 623	13 24 493
	需要に応じたフレキ シブルスペース	fabbit	施設数 室数 面積(坪)		20 - 3,267
貸会議室小計			施設数 158 室数 1,512 面積(坪) 87,639	198 1,754 104,274	219 1,767 111,248
非直営・送客			施設数 43 会議室数 255 面積(坪) 10,431	42 279 11,296	44 291 11,535
TKP貸会議室+非直営・送客 合計			施設数 201 室数 1,767 面積(坪) 98,070	240 2,033 115,570	263 2,058 122,783

全国直営**219**施設契約面積**11万**坪超の

スペースを提供

※2025年2月期Q1にカウント定義を見直したことにより、
2024年2月期末の数値を変更
※CIRQの施設数は従来のエスクリの施設数に加え、
ノバレーゼの施設数36施設が含まれている

貸会議室・フレキシブルスペース事業 KPI推移－坪あたり売上高

坪あたり売上高は、前年同四半期（Q2）を超え、同四半期で**過去最高を更新**。

有効会議室面積(坪)はコロナ前の水準を超えた

有効会議室面積(坪)

60,000

50,000

40,000

30,000

20,000

10,000

0

有効会議室面積

● 坪あたり売上高

坪あたり売上高/月
四半期平均(円)

55,000

50,000

45,000

40,000

35,000

30,000

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

47,519

39,533

43,342

42,689

28,249

24,214

32,988

31,868

コロナ前
2/2020

2/2021

43,436

40,354

43,676

40,359

46,923

42,301

47,496

42,885

48,388

45,898

2/2024

2/2025

2/2026

※坪あたり売上高：会議室の室料、オプション料、料飲売上等会議室利用に付随する売上高の合計を有効会議室面積で割った数値

有効会議室面積：会議室としてレンタル可能な面積の合計（施設の共用部分や宿泊施設の客室等、会議室として利用されない面積は含まない）

※2020年2月期までは再開発による取り壊しで撤退となった、約2千人収容可能で坪あたり売上高が突出したGC品川が本来含まれるが、同等の条件で比較するために除いた。

※2026年2月期Q1より当該KPIの算出方法を見直し、CIRQ、非直営・送客施設を除いたことにより、過年度の数値も変更している。

ホテル・宿泊研修事業 宿泊施設の内容および客室数 ※直営施設

アパホテル	客室数	オープン	面積(坪)
アパホテル〈TKP札幌駅前〉	203	2014年8月	1,464
アパホテル〈TKP札幌駅北口〉EXCELLENT	105	2016年8月	1,478
アパホテル〈TKP日暮里駅前〉	278	2016年12月	1,319
アパホテル〈TKP東京西葛西〉	124	2017年12月	755
アパホテル〈TKP京急川崎駅前〉	143	2018年6月	670
アパホテル〈TKP仙台駅北〉	306	2018年10月	1,881
アパホテル〈大阪梅田〉	162	2019年5月	760
アパホテル〈博多東比恵駅前〉	206	2020年2月	901
アパホテル〈福岡天神西〉	268	2020年5月	1,147
アパホテル〈上野広小路〉	215	2020年7月	847
アパホテル〈京都五条大宮〉	122	2024年7月	891
アパホテル〈帯広駅前〉	222	2024年8月	1,985
アパホテル〈函館駅前〉	143	2024年8月	1,124
アパホテル〈和歌山〉	142	2024年11月	1,338
アパホテル〈湘南 辻堂駅前〉	111	2025年1月	1,139
アパホテル〈宮城古川駅前〉	152	2025年2月	1,314
アパホテル〈宮崎延岡駅前〉 Q2 オープン	192	2025年6月	1,549
アパホテル〈宮崎延岡中央〉 Q2 オープン	93	2025年6月	569
アパホテル〈山口防府〉 Q2 オープン	141	2025年6月	1,491
【予定】アパホテル〈大分駅前〉	255	2025年12月	205

レクトーレ	客室数	オープン	面積(坪)
レクトーレ熱海小嵐	20	2013年11月	1,514
レクトーレ箱根強羅	23	2014年1月	1,653
レクトーレ熱海桃山	31	2014年7月	611
グランレクトーレ湯河原	55	2017年5月	2,004
レクトーレ葉山湘南国際村	160	2018年4月	2,951
レクトーレ 羽生TERRACE	30	2025年4月	2,000
【予定】レクトーレ熱海桃山SMART	13	2025年秋	251
その他	客室数	オープン	面積(坪)
アジュール竹芝	122	2017年4月	3,830
石のや 伊豆長岡	22	2015年1月	2,872
ISHINOYA 熱海	22	2020年9月	1,129
TKPサンライフホテル	310	2022年12月	1,851
ISHINOYA別府 (SHONIN PARK内) Q2 オープン	23	2025年7月	12,765

※小数点は切り捨て

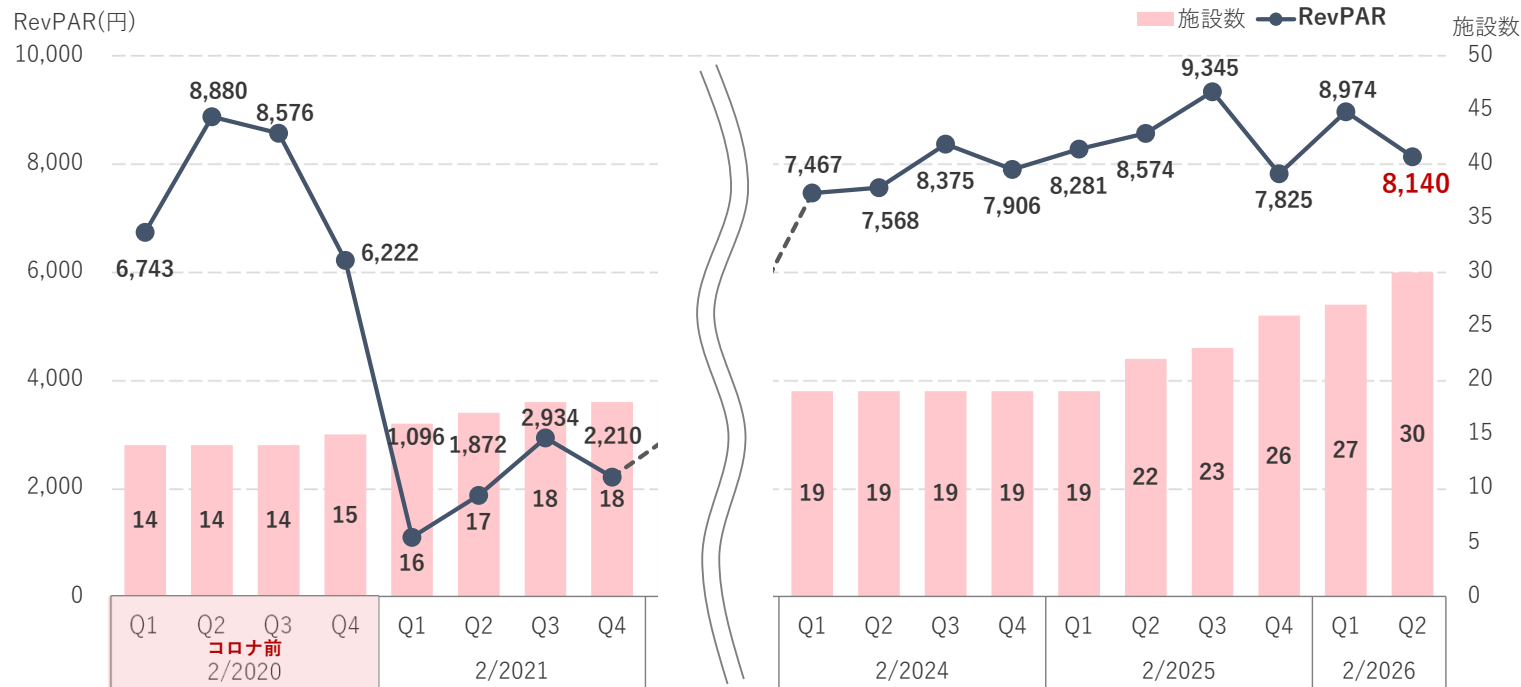
▼2025年 8 月末時点

	施設数	室数	面積(坪)
合計	30	4,146	55,802

ホテル・宿泊研修事業 KPI推移－宿泊施設数およびRevPAR

Q2のRevPARは、前年同四半期（Q2）に対し**434円（約5%）**減少。

宿泊施設全体のRevPARは低下した一方、既存施設は堅調に推移



※RevPAR：販売可能な客室1室あたりの収益

※レクター・軽井沢は、集計期間中の多くが運営休止・停止期間であるためRevPARの集計対象外

事業戦略アップデート

出店状況

TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神ブリッククロス

2025年
9月より
順次開業



天神駅地下直結のハイグレードオフィスビル「天神ブリッククロス」南棟の10～12階に位置し、総契約面積 1,218 m² (368坪)、全 11 室のホール・会議室を備えたオフィスバンケット。企業の会議や採用説明会、表彰式、懇親会など、多彩なビジネスニーズに対応可能

- ビル名 : 天神ブリッククロス 南棟
- アクセス: 空港線天神駅 15番出口直結
- 契約面積: 368坪

TKP みなとみらいカンファレンスセンター

「KDX横浜みなとみらいタワー」33階にオープン予定の貸会議室施設。約300m²の大ホールを3室備えており、セミナーや展示会、講演会など多様な用途でご利用可能。大型モニターを完備した配信専用ルームを設置し、リアルとオンラインを組み合わせたハイブリッド形式のイベント開催にも対応できる

- ビル名
KDX横浜みなとみらいタワー
- アクセス
みなとみらい線
みなとみらい駅 徒歩4分
- 契約面積
541坪

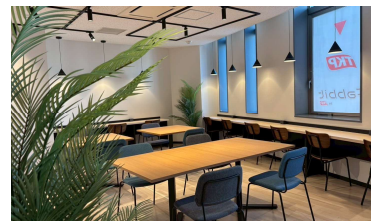
2025年
11月
開業予定



TKP fabbit 高松



JR四国グループが運営するJR高松駅直結の「高松オルネ南館」3階に位置し、貸会議室「TKP高松カンファレンスセンター」とシェアオフィス「fabbit高松」を一体的に備えた複合施設。日常的なオフィスワークから大規模な会議まで、円滑に行える環境を整え、多彩なビジネスシーンを支える



- ビル名：高松オルネ南館
- アクセス：高松駅直結
- 契約面積：203坪

TKP fabbit 虎ノ門

貸会議室の「虎ノ門カンファレンスセンター」とシェアオフィスの「fabbit 虎ノ門」が入る「TKP fabbit 虎ノ門」をTKP史上最大規模のビル1棟で開業。全 66室の会議室・ホール・レンタルオフィスを備える

- ビル名：西新橋1丁目ビル
- アクセス：東京メトロ「虎ノ門駅」より徒歩5分
- 契約面積：4,766坪



ホテル・宿泊研修事業 出店進捗

- 石のや
- アパホテル(FC)
- レクトーレ
- その他宿泊施設



直営
全**32**施設
(2025年8月末時点)
※開業前施設も含む

ホテル・宿泊研修事業 SHONIN PARK開業

2022年に設置等予定者に選定され、2024年から開発を進めていた大分県別府市の Park-PFI 事業である「上人ヶ浜公園整備運営事業」、施設名称「**SHONIN PARK**」が7月24日オープン



SHONIN
PARK

季節ごとのイベントやビアガーデンなどを通じて賑わいを創出し
各種メディアにも多数取り上げられる話題性の高い施設



多彩な体験価値を提供

- ISHINOYA別府(宿泊) — 全室がオーシャンビューと源泉かけ流し温泉付
- Sand SPA (砂湯) — 砂湯・温泉・足湯・Barで癒しの場を提供
- Grill Takka (飲食) — 地元食材のグリル料理を海辺で堪能
- ショップエリア — 大分・別府の特産品やグルメを楽しめる
- 公園空間 — 海沿いの広場、散策路、イベント利用も可能

大分駅前でアパホテルとfabbitを開業予定。両施設の相乗効果により、宿泊を伴う会議・研修・イベントなどにも柔軟に対応可能な環境を整備。施設運営を通じて新たな雇用を生み出し、また県内外からの人の流れを創出することで、**地域経済の活性化と地方創生に貢献**。

アパホテル〈大分駅前〉

2025年
12月3日
開業予定

多様な客室タイプと、最大 72名収容の多目的会議室も併設。大分の食材を活かしたレストラン、温泉大浴場、屋上には大分市街を一望できるルーフトップバーを設置。

滞在に付加価値を、宿泊以上の体験を提供し、企業研修やMICE 需要、オフサイトミーティングの場としても利用可能

延床面積：1,423坪



255室

TKP fabbit 大分駅前

2025年
10月20日
開業予定



- ビル名：TKP大分ビル
- アクセス：大分駅
徒歩2分
- 延床面積：200坪

貸会議室とシェアオフィスが融合した施設。大小さまざまな会議室やコワーキングスペースなどを備え、オフィスワークから研修、セミナー、大規模な会議やイベントまで幅広く対応可能

政策投資・事業提携

M&A戦略：事業領域と政策投資・事業提携の状況

出資先の強みを活かし、既存TKP事業と連携しながら新たな事業領域に進出



再生を軸にした重層的な施策展開

これまでの既存事業の成長を軸としながら、種まきを行った施策を重層的に進めていくことで、
TKPグループの事業規模を指数関数的に拡大させていく



リリカラ ×

- ・首都圏でTKP施設を利用したインテリア販売会の開催決定。TKP・リリカラ双方の売上に寄与。
他エリアでも開催検討中
- ・両社の知見・ノウハウを活用して備品調達や業務経費を合理化し、費用削減を推進中

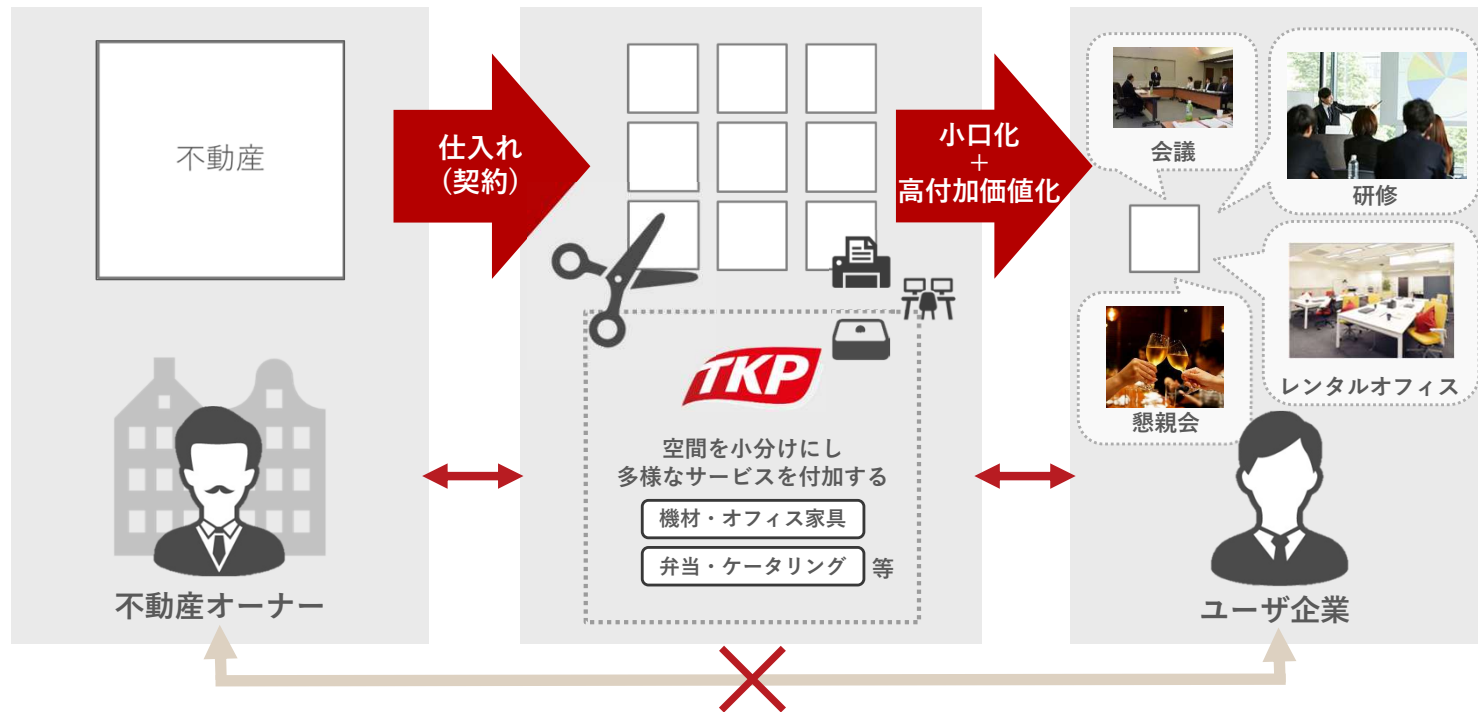
NOVARESE ×

- ・ノバレーゼ施設のTKP法人顧客への販売強化に向けて、TKP営業担当者への研修、顧客向け内覧会
- ・ノバレーゼ子会社提供のギフトセットをTKP顧客(法人・婚礼)に販売
- ・上人ヶ浜でのロケーション撮影プラン起ち上げで連携

Appendix

ビジネスモデル「空間再生流通」

不動産を保有せずに賃貸借・業務委託等の契約で確保し、小分けして周辺サービスを付加することで、ワンストップで総合的な空間サービスを提供する



契約などの手間をかけずフレキシブルな期間・用途で利用が可能

貸会議室を主軸に**全国に幅広いネットワークを展開しているのはTKPのみ**。さらに、**幅広いオプションサービス・柔軟なオペレーションに秀でている**ほか、**フレキシブルオフィスの提供も可能**。

そのため、幅広い顧客層のニーズに応える事ができ、競合と比較して優位性は非常に高い。

	TKP	A社	B社	C社	D社
施設数 (全国)	263	38	20	18	4
施設数 (都内)	90	38	13	16	3
全国展開	◎	△	△	△	△
運営母体 主軸事業	貸会議室	不動産	不動産	不動産	鉄道
施設規模	小～大ホール	中～大ホール	小～中規模	小～中規模	中規模
価格帯	安価～高級	高級	安価～中価格	安価～中価格	高級

※競合他社は、施設数や貸会議室としての認知度等をもとに当社が選定し、2024年の公表データより当社試算/算出。
 ※当社グループの数値は2025年8月末時点。施設数はTKP会議室とエスクリ社、ノバレーゼ社との共同ブランド「CIRQ」の施設数の合計。

(ご参考) セグメント別の季節性

今期よりリリカラ事業、ノバレーゼ事業が通期寄与する。各セグメントの売上季節性は以下の通り。

従来は空間再生流通事業の単一セグメントで収益がQ1に偏っていたが、今期からはQ4に偏重する見込み

	決算期	季節性			
		Q1	Q2	Q3	Q4
	2月	◎ 3～5月	△ 6～8月	◎ 9～11月	○ 12～2月
	12月 2カ月遅れで連結取込	△ 1～3月	△ 4～6月	○ 7～9月	○ 10～12月
※上期に発生する販管費（見本帳の発行）があり、営業利益が上期に減少する傾向がある					
	12月 2カ月遅れで連結取込	△ 1～3月	○ 4～6月	△ 7～9月	◎ 10～12月

エスクリ（2196）への追加出資を実行：持分法適用関連会社へ

（6/6 発表）エスクリの株式95万株を取得し、議決権比率19.6%の筆頭株主へ。
同社は26年2月期Q2より当社の持分法適用関連会社化

株式取得の経緯

■2020年7月

資本業務提携を締結し、14.5%※の株式を取得

■2025年1月

発行済優先株(A種種類株式) 3,000株を取得（普通株式転換権あり）

■2025年6月

追加出資により議決権比率19.6%の筆頭株主へ



共同ブランド「CIRQ」



【これまでの業務提携の内容/シナジー】

- ブライダル施設における平日の稼働率向上を目的とした共同レンタルスペースブランド「CIRQ」の開発・運営
- コスト最適化を目的とした、建設業を営む同社完全子会社への工事委託

項目	単位	23年2月期	24年2月期	25年2月期
1人当たりの研修回数	回/年	1.68	2.49	10.98
コンプライアンス研修 (情報セキュリティ等含む)	回/年	1.00	1.00	1.00
男女 賃金差異(女性/男性)	%	80.3	79.6	78.3
平均時間外労働時間	時間/月	14.8	17.7	14.6
1人当たり有給休暇取得日数	日/年	19.6	16.3	16.5
育児休業取得率	%	70.4	43.3	100.0
男性	%	47.1	26.3	100.0
女性	%	100.0	72.7	100.0
女性社員比率	%	39.5	40.7	42.5
女性管理職比率	%	13.2	14.4	15.5
中途採用比率	%	78.3	95.2	76.5
障がい者雇用率	%	2.56	2.25	2.23
社外役員比率	%	62.5	62.5	75.0
独立役員比率	%	50.0	50.0	62.5
女性役員比率	%	12.5	12.5	37.5
内部通報件数	件/年	0	0	0
社外に公表すべき重大な情報漏洩発生件数	回/年	0	0	0

※単体の正社員を対象に算出

ご留意事項

本資料は、当社グループをより深く理解していただくためのものであり、
本資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
また、これらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている業績見通し等は、
いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、
これらは市場環境や事業の進展などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績等は、
本資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。